

ラゴそ防災

9月1日は防災の日

周防災課 ☎(25) 8133



9月1日は「防災の日」です。地震や台風などの災害について理解を深め、被害を防ぎ、少なくとも死傷にはどうすればよいかを考え、災害に備える日とされています。
災害はいつどこで起こるか分かりません。災害について「正しく知り、正しく恐れ、正しく備えること」が防災の第一歩です。「当事者意識」を持ち、それぞれの立場でできることを考え、日ごろから備えておくことが大切です。
この機会に、ご家庭や地域での防災対策の確認をお願いします。

新型コロナウイルス感染症禍での避難所運営訓練を実施しました

7月28日(火)に、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた適切な避難所の運営ができるよう訓練を実施しました。

訓練では、避難所で使用する資機材の組み立てや、専門家の指導のもと、避難されてきた方の体調確認と検温の手順や感染が疑われる方の誘導方法などを確認しました。

避難をする時には、新型コロナウイルス感染症をはじめ、さまざまな感染症を予防するため、マスクの着用やこまめな手洗いなど基本的な感染症対策をお願いします。

十分な換気の実施や人との距離を確保して3つの密(密閉・密集・密接)を避ける工夫に心掛けましょう。

避難時の非常持ち出し品としてマスク、体温計、アルコール消毒液、ビニール袋などを準備しておきましょう。



家の安全性は大丈夫ですか？

大地震の際には、家の倒壊や家具などの転倒により、命を落とすことがあります。ベッド周りや出入口付近には倒れやすい家具を置かないよう配置を見直したり、つっぱり棒などを使って家具を固定したりしましょう。

食料、飲料水、生活必需品の備蓄は大丈夫ですか？

大規模災害時には、電気・水道などライフラインが長期間止まることもあります。最低3日間は、自らが生活できるよう準備しておきましょう。

また、備蓄している食料や飲料水の消費期限なども確認し、定期的に更新しておきましょう。

台風や大雨に備えましょう

「総合防災マップ」などを活用し、事前に自宅周辺の危険箇所や避難場所・経路・方法について確認しておきましょう。また、防災関連情報に注意し、増水した河川や田んぼの水路などには絶対に近づかないでください。

事前に、周囲に風で飛ばされる

ものがないか点検したり、農業用水路などを掃除し水の流れをスムーズにしておくほか、農業用せき板を水路から外したり、ビニールハウスのビニールをはがすなど被害を最小限に抑える準備をしておきましょう。

避難の時に注意しましょう

ヘルメットなどで頭を保護し、ひもでしめられる運動靴をはくなど、動きやすく安全な服装で避難してください。また、マンホールや道路脇の水路など足元に注意し、複数で避難するようにしましょう。

避難は、安全の確保が第一です。事態が切迫している場合は、指定された避難場所への移動だけでなく、命を守る最善の行動が必要な場合もあります。自宅の前を濁流が流れているときなど、家の外へ避難することが危険なときは、2階など家の中でより安全な場所へ避難してください。

ご自身が危険を感じたとき、不安を感じたときが避難のタイミングです。市からの指示を待たずに、早めの避難行動を心掛けてください。